

<2023年度:地域と大学との連携事例>

NO	案件	依頼者	支援者	依頼内容	依頼者・支援者・ユニコンムの活動と成果
1	子育て支援者に向けたセミナー	子育て親育ち応援団With.cfc	相模女子大学	発達支援の現状や市民団体が出来る事などについて勉強会で専門的なアドバイスが欲しい。	相模女子大学子育て支援センターのカボール教授に相談。勉強会前に、依頼者、教授、センターの三者で打ち合わせを行う。単なる講義ではなく、勉強会の趣旨やゴール、その後の取組について、事前に十分に検討することとし、事前準備が行われるなど、深い学びの場となった。
2	団体のロゴ作成	着物de文化フォト未来事業	横浜美術大学	団体のロゴマークを作成して欲しい。	ユニコムより横浜美術大学に相談し、依頼者、大学、センターの3者で打ち合わせ。ロゴイメージやスケジュール、制作プロセスのすり合わせを行い、教員によるロゴマークの制作が行われた。
3	おーのじかんリーフレット作成	おーのじかん事務局	相模女子大学	手づくり体験工房紹介のリーフレット「おーのじかん」(相模大野商店街連合会発行)のマスコットを大学に制作して欲しい。	相模女子大学生活デザイン学科に相談し、同学科の学生が制作することとなった。授業の一環とされ学科全員によるコンテスト形式がとられ、最優秀作が採用された。途中、授業におーのじかん事務局の方が招かれ、学生との意見交換がされたほか、最終的にコンテスト参加した作品は、センターロビーで展示し、利用者、地域の方々にご覧いただいた。
4	第3回つながるフェスの支援	つながるフェス事務局	和泉短期大学	多胎児育成支援のイベントにおいて、保育を勉強する学生に支援してほしい。	和泉短期大学に相談。イベント実行委員とセンター、大学で打ち合わせ、授業の一環として取り組むこととなった。当日は30名が協力し保育を行うとともに、北里大学看護学部学生も参加し出産をテーマとした交流が行われた。
5	相談指導教室における大学連携	青少年相談センター南分室	桜美林大学	適応指導教室(不登校の児童生徒が通う教室)における制作活動について大学との連携したい。	ユニコムフェスタを通じて交流のある桜美林大学卒の根国際プロジェクトに相談し、連携が成立。同プロジェクトが持つ教育ノウハウを活かし、外国のおもちゃ(けん玉)を題材に、世界の文化やものづくりに触れる授業が実施された。
6	コラボスイーツ開発の支援	相模女子大学	相模原市観光協会	岩手県大船渡市の支援活動の一環として同市の企業とのコラボにより開発することとなった同市の既存スイーツに、相模原市の特産品を使うこととなり、相模原市内産の食材入手方法、子ども食堂に寄付する際の窓口等にアドバイスが欲しい。	食材の情報については相模原市観光協会に相談。結果として津久井在来大豆のきな粉を使った銘菓「甘はたて」、「クッキー(4種)」を開発し、相模女子大学相生祭及び相模原市農業まつりで販売された。子ども食堂への寄付先としては相模原市社会福祉協議会を紹介し寄付が行われた。
7	着物、帯の伝統文化を現代に生かす取り組み	市民団体:古和楽	相模女子大学	着物や帯の伝統文化を若い世代に繋いでいきたい。	相模女子大学生活デザイン学科に相談し、学科の授業として取り扱うこととなった。今年度は、当該団体が授業に参加して、着物を紹介しながら意見交換を行った。また、着物文化が次年度以降も、学科として取り扱うテーマの一つとなった(選択方式のため採用されないこともある)。
8	ロゴマーク作成	相模原市橋本倫理法人会	女子美術大学	情報サイト「相模原ジャーニー」の立ち上げに際し、ウェブサイトで使用するロゴマークを学生に作成して欲しい。	女子美術大学の学生に相談。依頼者、学生、センター3者で面会し、ロゴのイメージや仕様、納期等を確認。協議が整い連携が成立。令和6年3月よりロゴの使用が開始されている。
9	広報媒体の作成	ITプログラミング倶楽部	学生団体Yippee	効果的広報媒体の制作に課題があるため、学生に広報用チラシの作成を依頼したい。	学生団体Yippeeに相談し、広報用チラシを作成した。
10	食料支援事業の発展的な運用	相模原市こども・若者支援課	青山学院大学SIVAボランティア愛好会	さがみはら大学生等未来応援事業における食料支援を発展させ、交流イベントなどを行いたい。	市担当者との意見交換を踏まえ、学生同士が交流できる企画、食材の試食ができる企画、食材提供者(支援者)とつながれる企画などを提案。SNSでつながった学生団体「青山学院大学ボランティア愛好会SIVA」に打診し連携が成立。2月実施の食料支援では、来場した学生にインタビューを行い学生のニーズを把握。令和6年度に食料支援・交流イベントの実施に向け取組を始めている。
11	地鶏を活用したメニュー開発	山路フードシステム	相模女子大学	緑区鳥屋で飼育している地鶏を使ったメニュー開発を産学連携で進めたい。	依頼者に、大学が研究するための条件(具体的な成果物イメージ、期間、費用、食材提供)を整理するよう依頼。その結果を踏まえ、相模女子大学栄養学科本間准教授に相談し、面会の段取りを整えた(面会は令和6年度)